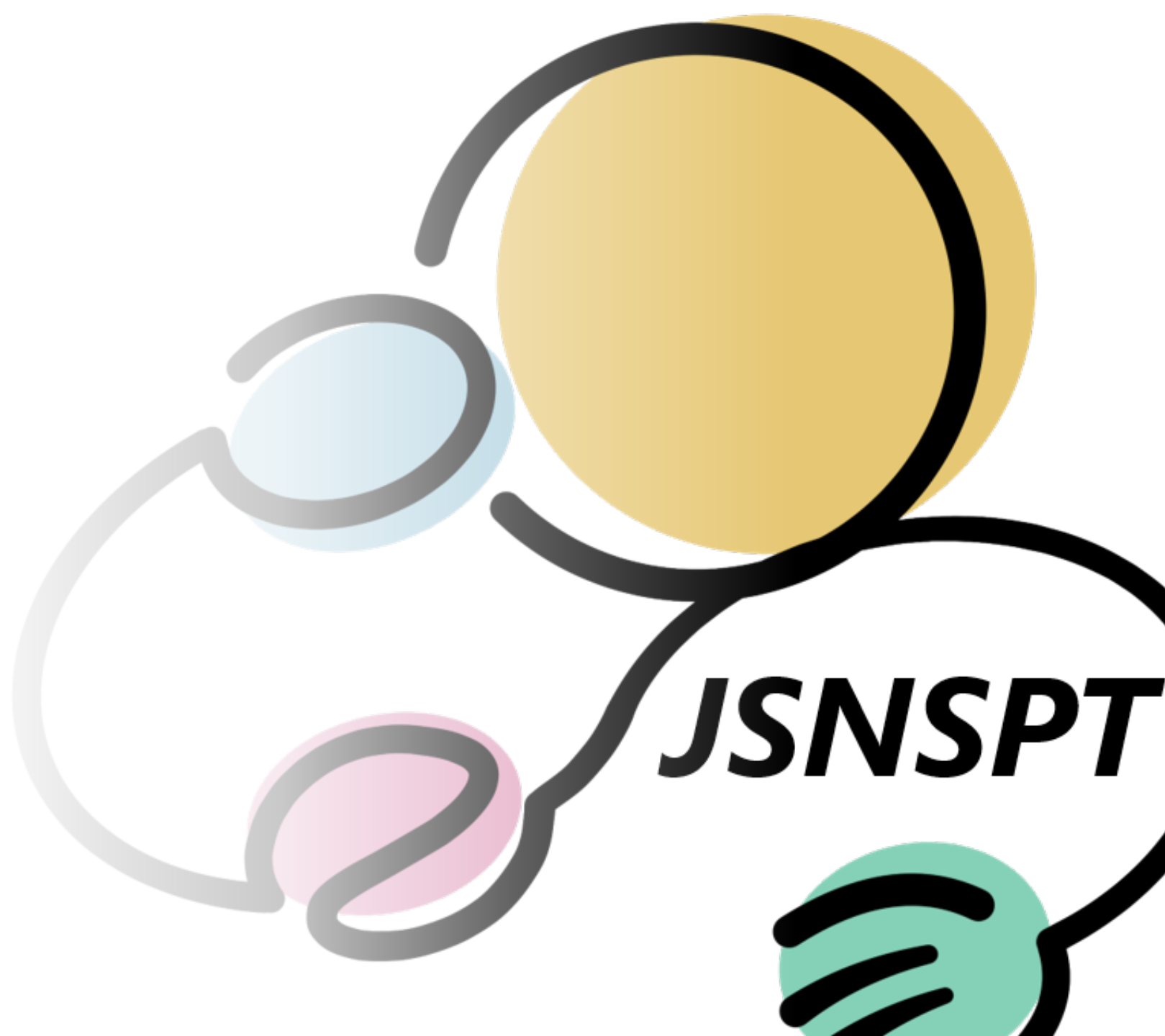
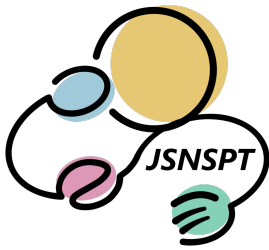




JSNSPT R5年度 満足度調査

広報理事：小西 信子





方法

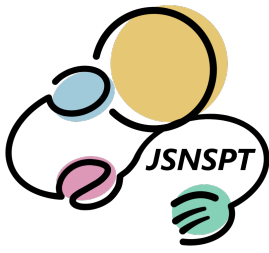
R5年度 日本栄養・嚥下理学療法学会満足度調査

日時：2024年2月9日～2月23日

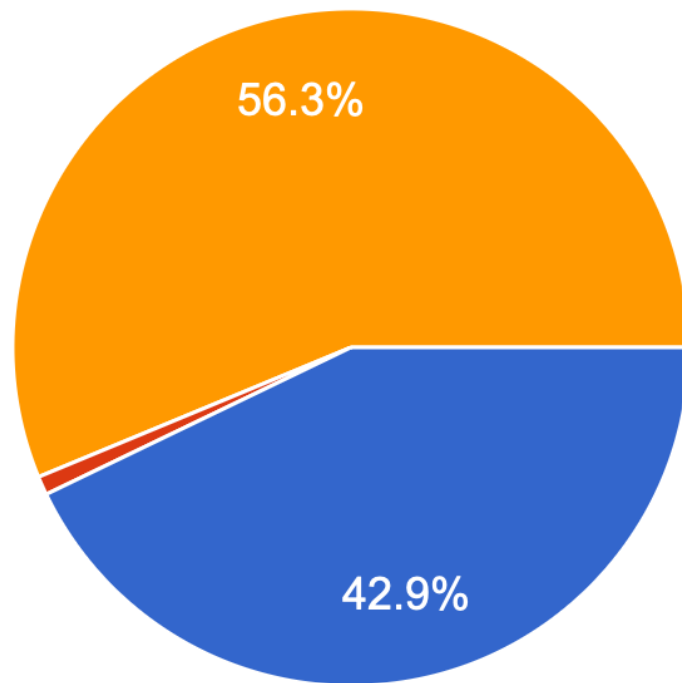
リマインド回数：1回

メール配信数：693

回答数：112（回答率16%）



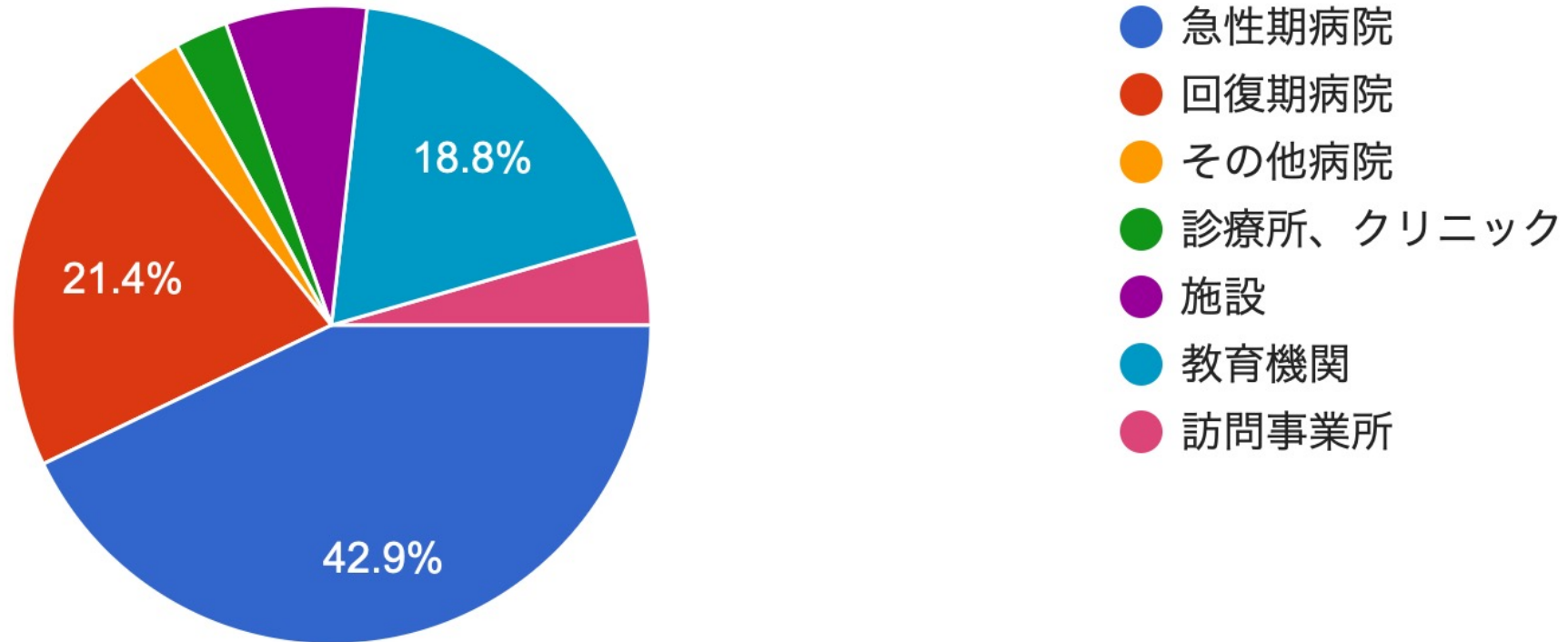
会員区分



- 専門会員A
- 専門会員B
- 一般会員
- 非会員でメールマガジンのみ希望している

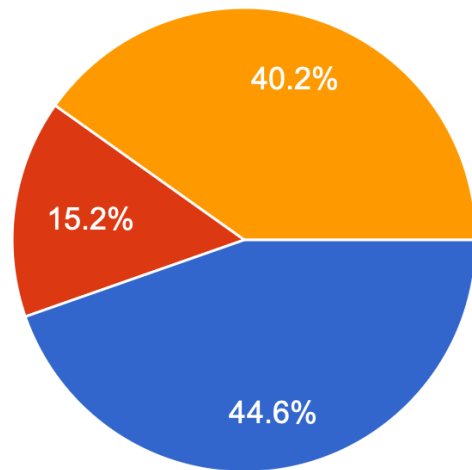
図はGoogle Formより転載しているため順不同

所属先

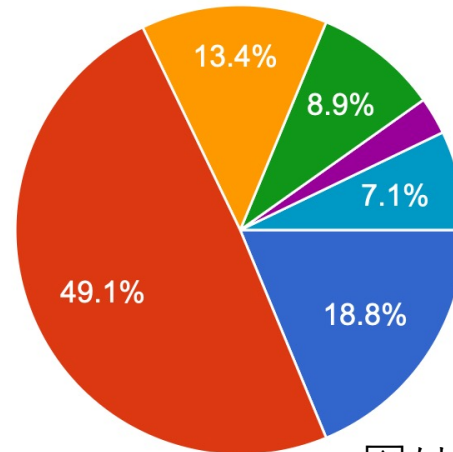


図はGoogle Formより転載しているため順不同

興味分野、当学会を知ったきっかけ



- 栄養領域
- 嚥下領域
- 両方



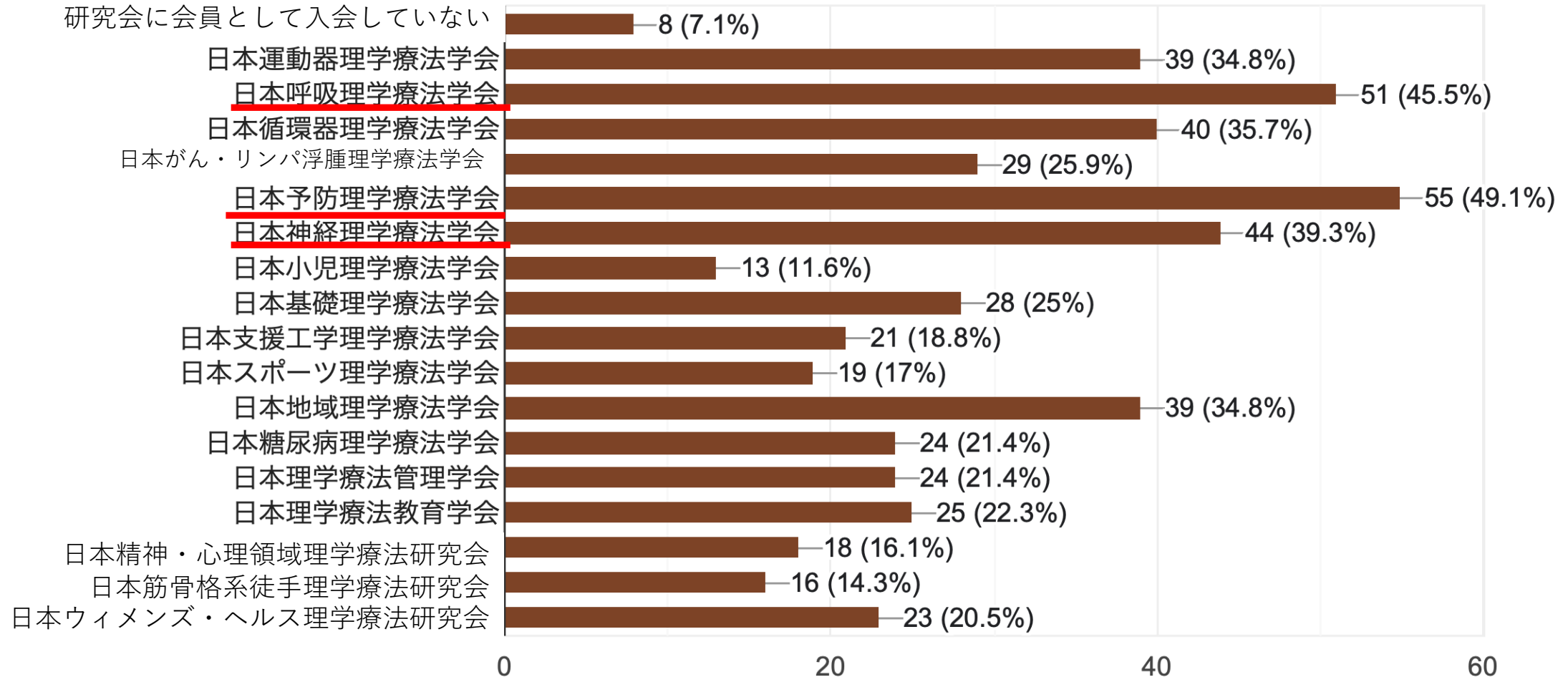
- 知人からの紹介
- 日本理学療法士協会のHPまたは広報誌
- 当学会のHP
- 講習会や学会の案内など
- SNS
- その他

図はGoogle Formより転載しているため順不同

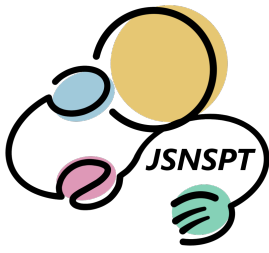
他に所属している学会・研究会

112 件の回答

他の日本理学療法学会連合の法人学会・
研究会に会員として入会していない



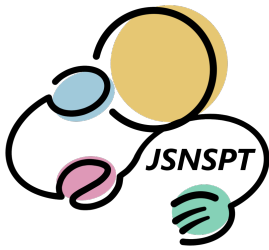
図はGoogle Formより転載しているため順不同



会員数の補正を行なった場合

	介入数	会員数	割合
未加入	8		
運動器	39	2922	1%
呼吸	51	1365	4%
循環器	40	1373	3%
がん・リンパ浮腫	29	649	4%
予防	55	1656	3%
神経	44	2897	2%
小児	13	617	2%
基礎	28	1261	2%
支援工学	21	763	3%
スポーツ	19	1353	1%
地域	39	1513	3%
糖尿病	24	743	3%
管理	24	916	3%
教育	25	951	3%

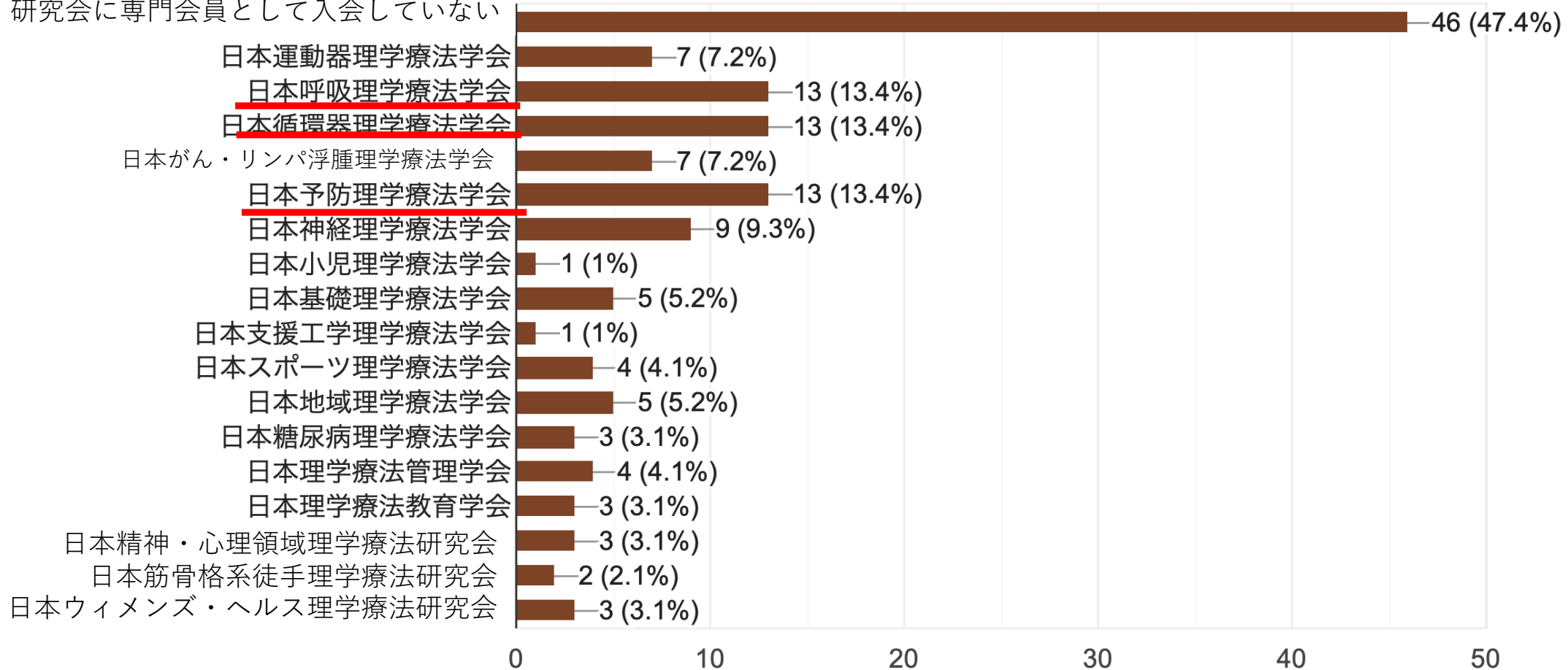
	介入数	会員数	割合
ウィメンズ・ メンズヘルス	23	641	4%
物理	0	609	0%
産業	0	660	0%
筋骨格系徒手	16	678	2%
精神・心理	18	374	5%



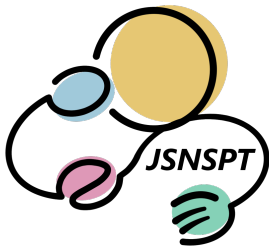
専門会員として所属している学会・研究会

97 件の回答

他の日本理学療法学会連合の法人学会・
研究会に専門会員として入会していない

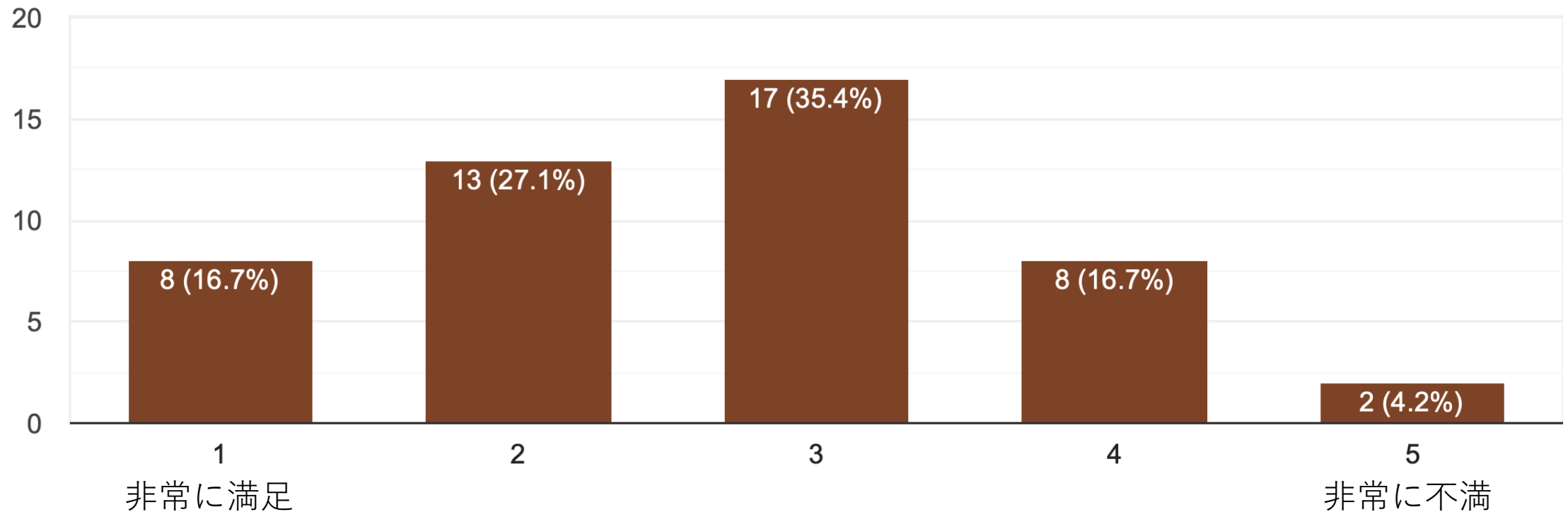


図はGoogle Formより転載しているため順不同



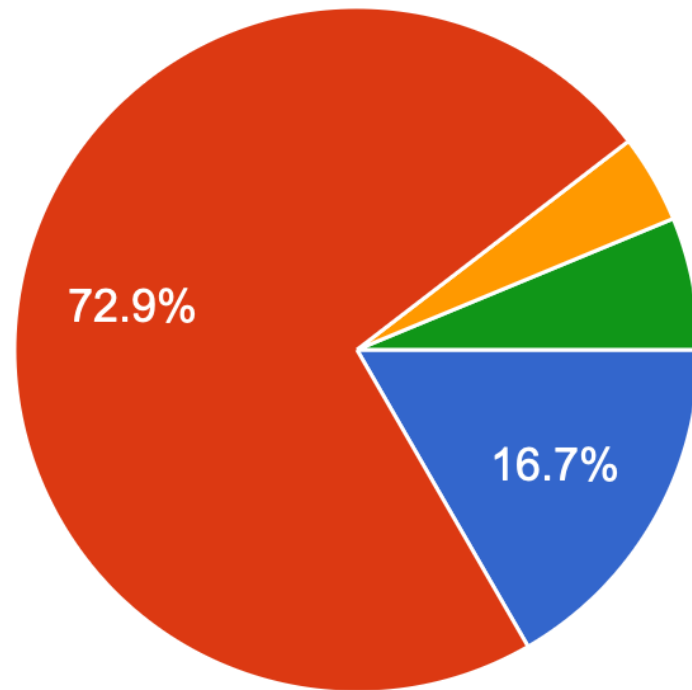
年会費に対する満足度 専門会員A

48 件の回答



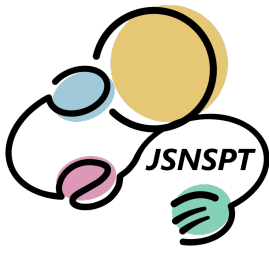
CSAT(顧客満足度):43.7%

専門会員になった理由

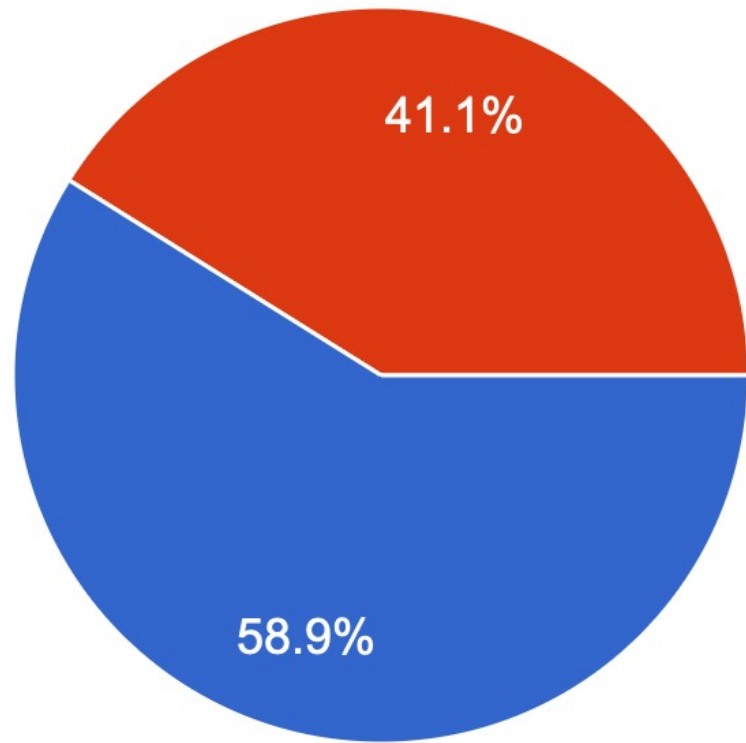


- 知人に勧められたため
- 栄養・嚥下の学術的发展に寄与したい...
- 専門会員になると学会や講習会が割引になるため
- その他

図はGoogle Formより転載しているため順不同



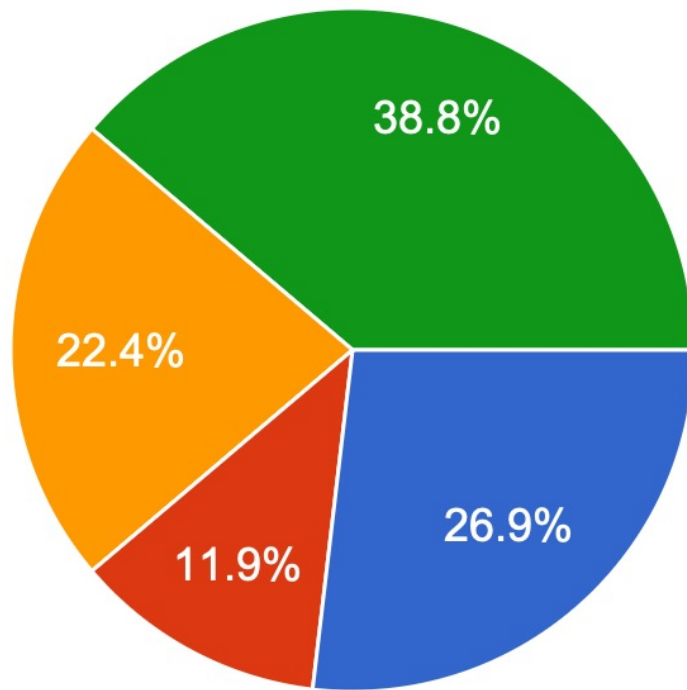
専門会員資格の有無



- 有している
- 有していない

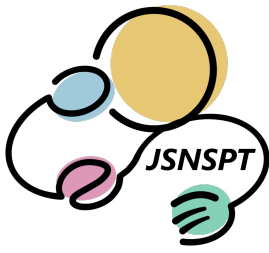
図はGoogle Formより転載しているため順不同

会員区分変更の動機づけ



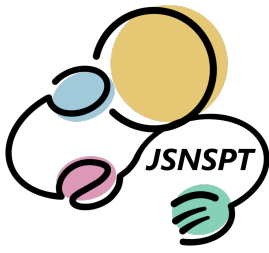
- 専門会員要件を満たしたら
- 当学会の認定または専門理学療法士資格ができたなら
- 専門会員になるメリットを感じたら
- 専門会員になることは考えていない

図はGoogle Formより転載しているため順不同



専門会員にならない理由

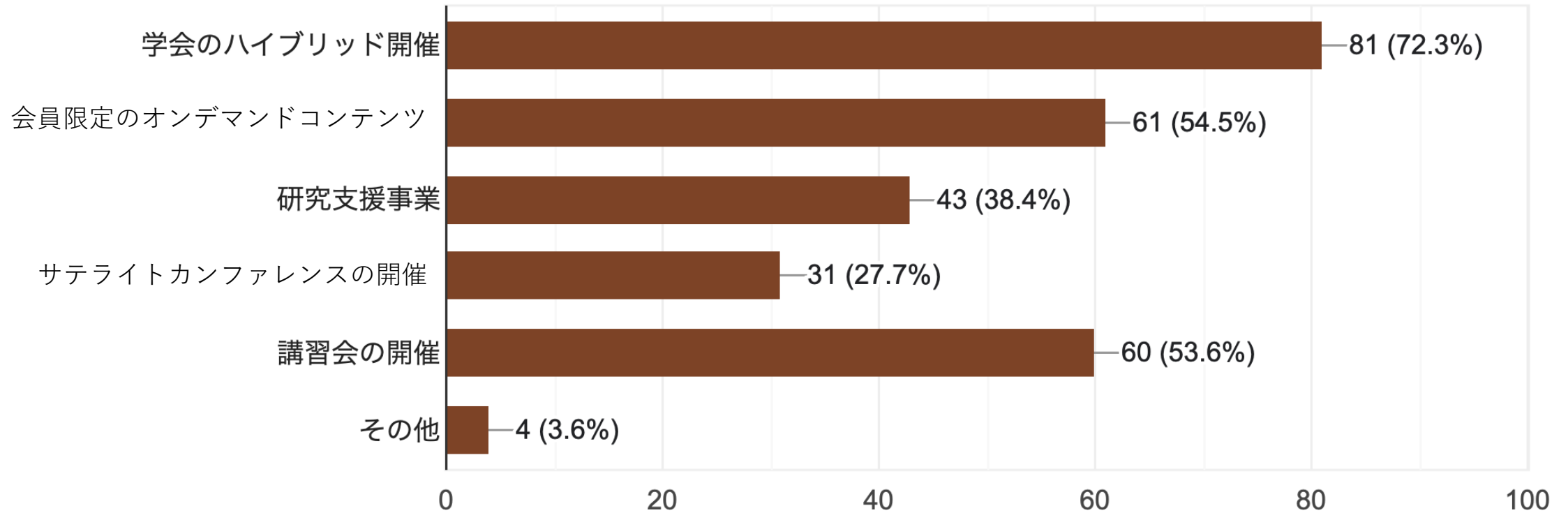
- 不便を感じていない 6件
- コスト関連 5件
- 他学会や業務の活動で忙しい 5件
- 勉強が足りていない・資格がない 2件
- 他の学会に入っている 1件
- 入会を拒否された 1件

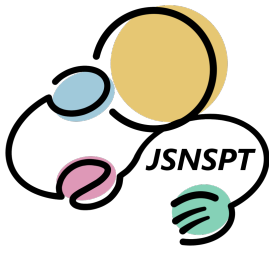


専門会員になるメリットについて

- コスト関連(学会参加費が安くなる、見合ったサービスなど) 6名
- 専門会員が給料に反映されれば 2名
- 認定・専門の更新の単位が取りやすくなる 1名
- 専門会員だけの勉強会 2名
- 社会的な認知 1名

今後に期待するサービス

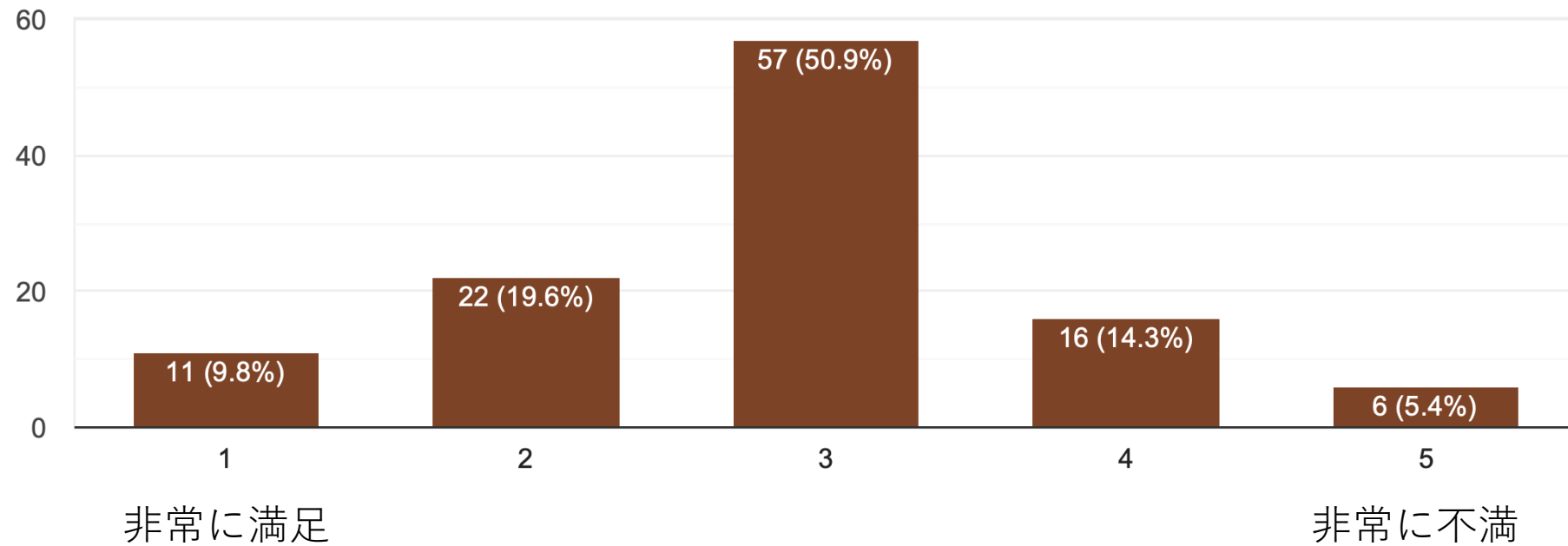




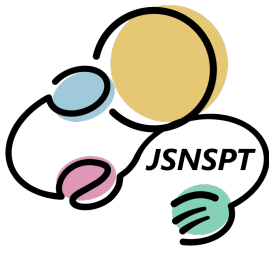
今後に期待するサービス（自由回答）

- オンデマンドがなく、料金設定が高くて魅力がない
- 基礎研究を含め、評価、治療コンテンツの開発、国際交流、他部門交流など
- 研究領域の開発・レジストリ研究の促進
- 無料の講習会
- 学会主導での研究
- 医科歯科連携の加算について、各病院の運営方法などを発信するサービス

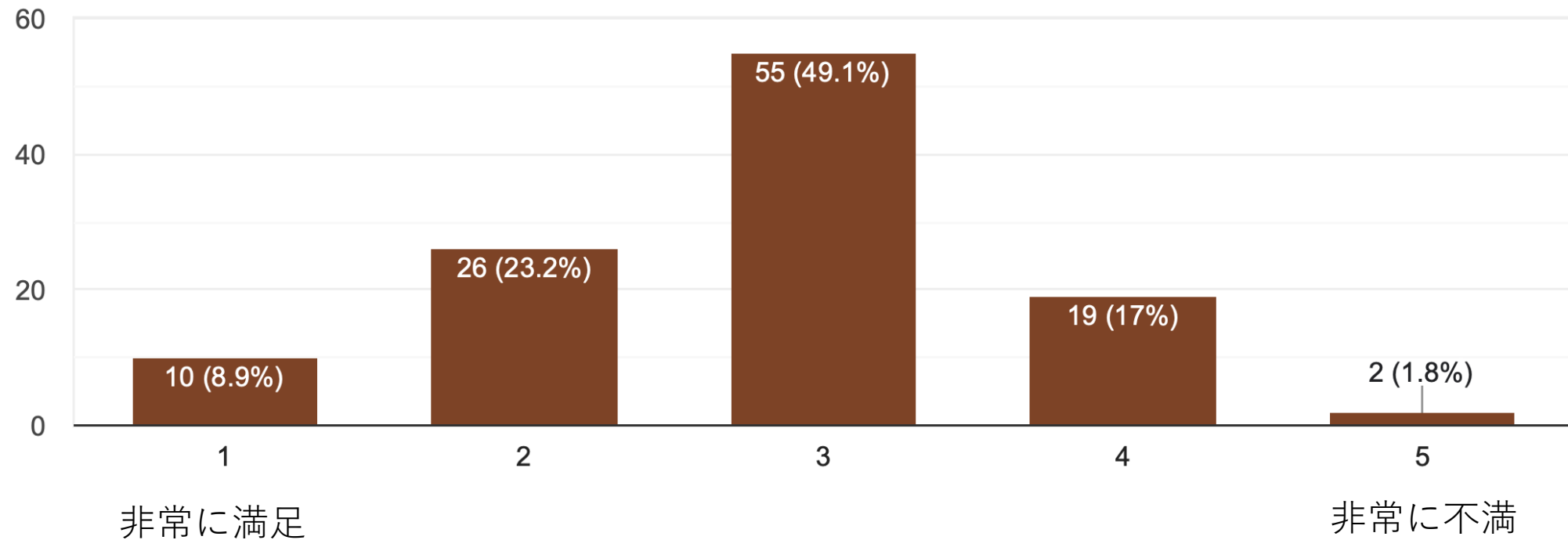
サービスの量への満足度



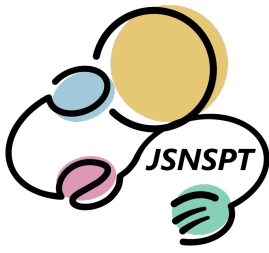
CSAT(顧客満足度):29.4%



総合的な満足度



CSAT(顧客満足度):32.1%

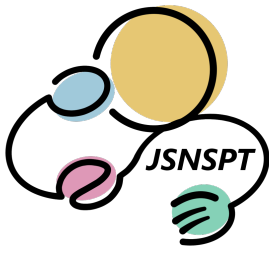


非常に不満～普通 満足度自由記載

- 提供される情報量が少なく、内容の質含め他学会と比較が難しい。
- オンデマンドでの提供や頻度が増えて欲しい
- ある程度の情報発信があるが、臨床にすぐに活かせるとは限らない。その他の連絡のほうが多い気がする
- リハ栄養として、アスリートや小児の成長・発達に関わる要素があってもいいと思う
- もう少し、臨床的な勉強会や研究支援が欲しい

不満～普通 満足度自由記載

- 専門会員であるインセンティブが見当たらない。
- 会員数増に向けた取り組みにもっと期待したい。
- 他学会とのコラボレーションがもう少しあるとよい。
- あまり活動がみえない。
- セミナー等の開催頻度が少なく、開催場所が限られている。
- すでに他の学会や研究会で構成された組織に思えて、知識や領域が偏っている。
- 学会が何に力を入れていきたいのかが分からない。

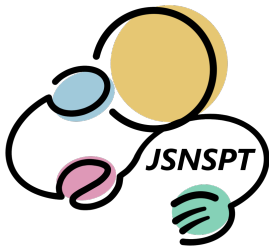


不満～普通 満足度自由記載

- 内部からの意見は聞いてもらえる体制ができつつあると思うが、外部(一般のPTも含めて)からの意見の取入れと実践、なんといいつても会自体の機能や会の名称すら周知や認知がたりない
- 料金設定が高いので魅力がない。

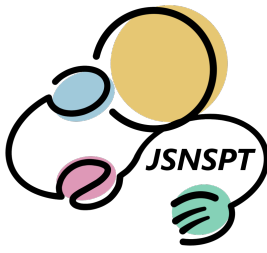
大変満足～満足 満足度自由記載

- 第9回大会は大変勉強になった。 3件
- 定期的にメールマガジンや講習会があるから。 2件
- 理学療法領域における栄養嚥下の重要性を発信して頂いているお陰で、当該分野に興味を持ち研究活動をはじめている職員が増えた。
- 貴学会が、今後発展する可能性をすごく感じるから。この領域は重要だが、理学療法士の役割が明確になっていないところが、残念に感じる。
- 学会開催時にランチョンセミナーがあったから。



大変満足～満足 満足度自由記載

- NSTなどと繋がりがもてれば良い。
- 学会は、全てハイブリッド開催にして欲しい。
- サテライトカンファレンスなどの開催がされていることはとても魅力的。
非常に興味深い内容でしたが、遠方のこともありスケジュール調整ができず参加できなかったもので、ハイブリットでの開催もしくは後日のオンデマンド視聴可であればと感じました。



一般会員 要望・意見

- 学科教育に履修必須科目として認知設定されると臨床教育に非常に役にたつ。
- 学術大会はハイブリッドにしてほしい。現地だと参加できないことが多くて残念。
- 現場レベルで使える内容の発信。
- 学会などの料金を安くし、裾野を広げてほしい。オンデマンドなど自由度の高いものにしてほしい。
- 急性期の患者に対して栄養学を用いる場合の客観的な検査値やエビデンスがほしい。

一般会員 要望・意見

- 栄養と嚥下に関する多施設合同研究をやってほしい。
- 診療報酬改定につながるような研究データの蓄積を先導してほしい。
- アンケートがあるだけでも前向きに感じる。
- どんどん研究発表しましょうという圧を感じる。もう少し興味をもたせる雰囲気学会になれば参入者も増えそうな気がする。

専門会員 要望・意見

- 有名どころの講師からの脱却。
- 臨床的な勉強会、研究支援が充実してほしい。
- オンデマンドで気軽に受講できるような研修会を配信してほしい。
- もっと地域社会に貢献できる学術団体のあり方を考えても良いのでは？
- 本学会が現在、他職種との連携がどのようなになっているのか、どの様に進めているのか、またはその進捗の状態や、展望を文章だけでなく、相関図や関連図などを用いて示して欲しい。それは他の職種の方に我が学会の説明や話をするときに利便が高いからです。将来的に完成してもらえると幸いです。

まとめ

- 重複学会は呼吸、がんリンパ浮腫、ウィメンズ・メンズヘルス、精神心理が多い
- 所属先は急性期、回復期、教育機関の順番に多い
- 当学会を知ったきっかけは連合HPまたは広報誌が多い
- 専門会員における年会費の満足度は43.7%
- 専門会員有資格者は約60%
- コスト関連の問題あり
- オンデマンド、講習会、当学会主催の研究などの要望あり
- 総合的満足度32.1%